

人材紹介事業を強化

来年度から「内部統制ルール」

米国公認会計士（USCPA）資格取得学校のU・S・エデュケーション・ネットワーク（東京都渋谷区）は、来年度から全上場企業に内部統制ルールが適用されるのに対応し、企業向け人材紹介業務や人材採用コンサルティング業務を強化する方針を明らかにした。子会社のキャリアアクセス（同）のスタッフを拡充し、大阪支社を開設した。人材紹介部門を事業の柱に育て、スクール業務と収益の両輪にする狙いだ。



内部統制 経営者および従業員が法令違反や判断ミスや情報漏洩（ろうえい）、ITの無計画な導入による業務の混乱などの不祥事を防ぐ仕組み。カネボウ、ライブドアなど有価証券報告書の虚偽記載や粉飾決算が相次いだことを教訓に、金融商品取引法に基づき、平成20年4月以降に始まる事業年度から、上場企業と主要子会社に義務づけられる。

U.S.エデュケーション・ネットワーク

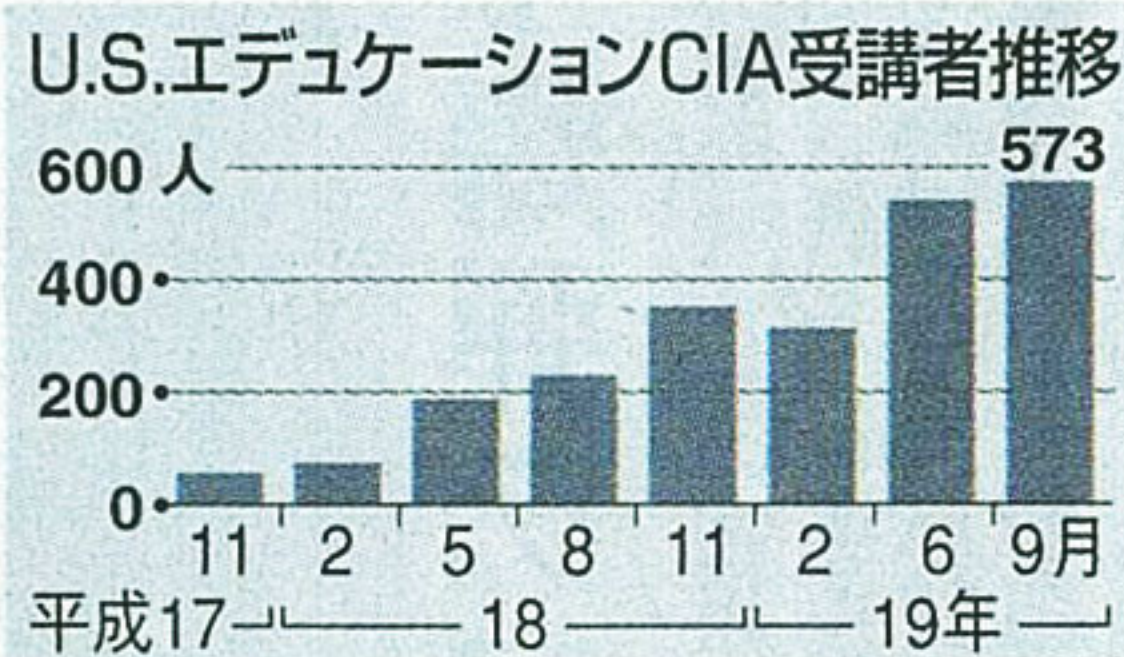
「大手金融機関や大手商社、コンサルティング会社、監査法人などからの求人が最近1年半で6倍に急増している」。三輪豊明社長は、内部統制ルールへの適用に合わせ、企業が人材の確保を急ごしらえで進めている現状をこう話す。

企業が求めている人材は、公認内部監査人（CIA）などの有資格者たちだ。CIAは内部監査に関する指導的な役割を担っているIIA（内部監査人協会）が認定する国際的な資格で、U・S・エデュケーションは、平成17年10月から資格コースを開設した。

同コースは3カ月ごとに開講する。開設当初は生徒数57人だったが、昨年9月には573人に増

加しているという。三輪社長は「年間1500人から2000人程度の生徒数が確保できる」とみており、主力の米国公認会計士講座の生徒数をし

また、情報システムの監査やセキュリティに関するプロとしてISA（情報システムコントロール協会）が認定する公認情報システム監査人（CISA）の講座も、18年4月から開講。



内部の人材を育成するための日本版SOX法（企業改革法）に対する実務者向け講座などを開催している。

子会社のキャリアアクセスでは、有資格者を企業に紹介するだけでなく

く、スクール部門と連携して営業など他の部署に所属する人材を育成し、内部統制部門に異動させるなど、人材コンサルティングにも力を入れ始めた。

さらに、監査法人と連携し、有資格者向けプロフェッショナル養成講座を開くなど、キャリアアップのためのサービスに

も取り組んでいる。

三輪社長は「当社の教育事業は利益率が高いものの、ニッチ（すきま）な領域なので規模拡大は難しい。人材紹介の分野は、大手人材派遣とは違う特徴のある人材サービスを提供できれば、成長の可能性は高い」とし、人材ビジネスの拡大を図る考えだ。

企業向け人材紹介などの将来性を語るU.S.エデュケーション・ネットワークの三輪豊明社長

